

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

【大学院 ディプロマポリシー】	
<p>東京農業大学大学院は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、農学あるいは生物産業学を基盤とした専門分野における高度な専門的知識と技術を有し、理解力、洞察力、実践力、想像力を兼ね備えた人材の養成を目指します。このために、研究科が設置した授業科目を履修して所定の単位数を修得し、博士前期課程・修士課程においては修士の学位論文を、博士後期課程においては博士の学位論文を提出することを学位授与の要件とし、学位論文の作成を通じて、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。</p>	
博士前期課程・修士課程	<p>(1) 広い視野に立つ深い学識を有し、専攻分野において、高度な専門的知識・技術に基づき、高い研究遂行能力または高度な専門性が求められる職業に従事できる能力を身につけている。</p> <p>(2) 社会において、未踏の領域に挑戦し、グローバルな視点から様々な課題に対応できる問題の発見と解決能力ならびに国際的なコミュニケーション能力を身につけている。</p>
【研究科 ディプロマポリシー】	
農学研究科	<p>農学研究科博士前期課程・修士課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、農学を基盤とした生物資源、生命科学、環境科学、健康科学ならびに経営・経済の分野において、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者および高度専門技術者を輩出するため、研究科が定める所定の単位数を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。</p> <p>(1) 生命、食料、環境、健康、エネルギー、地域創成などに係わる確かな知識と技術を有している。</p> <p>(2) 研究者、教育者あるいは専門家として活動しうる能力を有している。</p> <p>(3) 論文の執筆や発表を行う能力、さらに多様な発信力を有している。</p> <p>(4) 科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を有している。</p>
応用生物科学研究科	<p>応用生物科学研究科博士前期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、農学を基盤とした生物資源、食品・健康科学ならびに環境科学の分野において、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者および高度専門技術者を輩出するため、研究科が定める所定の単位数を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。</p> <p>(1) 生物生産・生物資源利用、食料、健康、環境、エネルギーなどに関わる確かな知識と技術を有している。</p> <p>(2) 研究者、教育者あるいは専門家として活動しうる能力を有している。</p> <p>(3) 論文の執筆や発表を行う能力、さらに多様な発信力を有している。</p> <p>(4) 科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を有している。</p>
生命科学研究科	<p>生命科学研究科博士前期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、農学を基盤としたバイオサイエンス、分子生命科学、分子微生物の分野において、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者など専門職者を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。</p> <p>(1) 生命を中心に、食料、健康、環境、エネルギーなどに係わる確かな知識と技術を有している。</p> <p>(2) 研究者など専門職者として活動しうる能力を有している。</p> <p>(3) 論文の執筆や発表を行う能力、さらに多様な発信力を有している。</p> <p>(4) 科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を有している。</p>
地域環境科学研究科	<p>地域環境科学研究科博士前期課程は、周辺環境、地域環境、地球環境に関する課題を解決できる専門人材を輩出するために、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に学位を授与する。</p> <p>(1) 地域環境に関する諸問題に対する高度な理解力と問題解決のための専門知識を有し、課題を自ら発見し考究できる能力を習得している。</p> <p>(2) 調和ある地域環境を構築するための生物資源の保全・利用・管理に関する専門知識と専門技術を習得している。</p> <p>(3) 地域環境に関する諸問題の社会的意義を自覚し責任感を持って問題解決にあたる事が出来る高度な倫理観と使命感及び、他者と協働して課題解決を行える能力を有している。</p>
国際食料農業科学研究科	<p>国際食料農業科学研究科博士前期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、食料・農業・環境領域での各国・地域の特性を活かした発展の実現に向けた課題の解決に取り組む上で必要な国際的視野と総合的な見識をもつ人材を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。</p> <p>(1) 農学・食品科学及び経済学・経営学・人文科学にわたる総合的で確かな知識と技術を有している。</p> <p>(2) 専門家、研究者あるいは教育者として国内外の現場に貢献しうる・活動しうる能力を有している。</p> <p>(3) 論文の執筆や発表を行う能力、さらに多様な発信力を有している。</p> <p>(4) 科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を有している。</p>
生物産業学研究科	<p>生物産業学研究科博士前期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、北方圏の地域性を活用した生物産業学を基盤としたそれぞれの専攻分野において、確かな知識と技術を有する研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位数を修得し、学位論文審査基準による修士論文の審査および最終試験に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。</p> <p>(1) 農林水産にかかわる生物資源、バイオテクノロジー、利用・加工、経営経済などにかかわる確かな知識と技術を身につけている。</p> <p>(2) 研究者、教育者あるいは専門家として活動しうる能力を身につけている。</p> <p>(3) 論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を身につけている。</p> <p>(4) 科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を身につけている。</p>

【専攻 ディプロマポリシー】	
農学	<p>農学専攻博士前期課程は、作物または園芸作物の生産、育種、農業環境、ポストハーベストおよび農作物にかかわる微生物などに関する分野において、優れた発想および問題解決の能力を備えた人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下のような能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)各専門領域において確かな知識と技術を有している。 (2)専門技術者、教育者、研究者としての能力を有している。 (3)論文執筆や口頭発表を行う能力および多様な発信力を有している。 (4)科学者としての倫理を理解し、農業現場および広く社会における問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を有している。</p>
動物科学	<p>動物科学専攻博士前期課程では、畜産・動物科学分野において、高度な知識と技術を合わせ持ち関連分野で様々な課題に対応できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)畜産・動物科学分野を俯瞰した知識を持ち、諸問題を理解する能力を有している。 (2)課題に対し自ら考えこれを検証する意欲と、能力を有している。 (3)自ら導いた解決策を公表し、議論する能力を有している。 (4)科学者としての倫理を理解し、社会の発展のため取り組む意欲を備えている。</p>
生物資源開発学	<p>生物資源開発学専攻博士前期課程では、農学分野において、健全で調和のとれた人間性を有し国内外の研究・産業の発展に貢献する人材を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた者に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)植物における生理生態学的知見、昆虫における分類学・形態学といった基礎昆虫学的知見、野生動物における生態学や行動学、進化学的知見を有している。 (2)生物資源の潜在的価値の評価と活用のための知識を有している。 (3)生物資源の見識を有しつつ、論理的思考に基づき文章作成ならびにプレゼンテーションする能力を有している。</p>
デザイン農学	<p>デザイン農学専攻博士前期課程では、イノベーション農学、およびサステナビリティ農学の二つの相互俯瞰的な視点から、豊かで持続可能な社会の構築に貢献する人材を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた者に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)作物の栽培や家畜の飼養に基づく食料生産だけでなく、農畜産物の加工・利用、食品の機能や特性・品質などに関する分析する能力を有している。 (2)新たな食の利用法を探索・提案するための方法論、生物の持つ機能とその利用に関する分析、農産物や製品の流通、あるいは生物を活用した人の心身の健康への貢献などに関する概念や分析等に関する知識や技術を備えている。 (3)新たな機能の開発、利活用、食農問題を含めた、設計科学としての農学に基づいた社会のあり方を設計(デザイン)する能力を有している。</p>
農芸化学	<p>農芸化学専攻前期課程では、人類の生活に関わる課題を農芸化学的アプローチにより解決するための科学的解析能力、論理的展開能力を備える人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)農芸化学に関する幅広い基礎知識と研究能力を有している。 (2)得られた研究成果を自ら解析し、応用できる能力を有している。 (3)英語論文などから情報を的確に得て、応用できる能力を有している。 (4)学会発表などにより研究成果を伝えることのできる能力を有している。</p>
醸造学	<p>醸造学専攻博士前期課程は、基礎科学知識に精通し、醸造に関わる微生物の分類、生態、構造、機能、遺伝、育種とその応用、醸造物・発酵食品の製造技術、解析、開発、醸造・食品産業における環境保全対策などに関する研究能力を有する人材ならびに高度な発酵技術を有し醸造業をはじめとする微生物利用産業の発展を支える研究者や高度専門職業人を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)醸造学を基盤とし、醸造微生物学、微生物工学、酒類生産科学、発酵食品化学、調味食品科学、又は醸造環境科学などの専門分野における確かな知識と技術を有している。 (2)微生物学、食品科学または生物工学を基盤とした研究能力を有している。 (3)論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を有している。 (4)科学者としての倫理を理解し、問題設定および解決能力を備えている。</p>

【専攻 ディプロマポリシー】	
食品安全健康学	<p>食品安全健康学専攻博士前期課程は、「食品の安全性」と「食品の機能性」の両分野において、食の安全と健康機能上の問題解決力を身につけた研究者や高度な専門職業人を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)「食品の安全性」について、食品(成分)のリスクの科学的評価、当該リスクの的確な管理、さらに、リスク情報の正しい発信に関する深い造詣と、広範な専門的知識を修得している。</p> <p>(2)「食品の機能性」について、食品中の新規機能性成分の探索、当該機能の解明と応用に関する深い造詣と、広範な専門的知識を修得している。</p> <p>(3)前二項に関する専門的知識・研究能力・倫理性を持って修士論文を作成することを通じて、難度の高い問題を解決し、その結果を社会に対して的確に発信する能力を修得している。</p>
食品栄養学	<p>食品栄養学専攻博士前期課程は、本学・農学研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康保持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する広範かつ確かな学識を獲得し、高度な専門職業人として食品栄養学周辺領域の人とも協同し社会で活躍できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)食品栄養学の高度で広範な専門的基礎知識や技術、研究手法を修得している。</p> <p>(2)食品栄養学における高度専門職業人として活躍する際に求められる情報収集力、観察・分析力と論理的思考力、さらに、判断のプロセスや結果を説明する情報発信のためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有している。</p> <p>(3)食品栄養学の研究に求められる高度な専門的研究手法を用いた優れた課題発見・分析力、さらには、修士論文作成における研究遂行力を有している。</p>
バイオサイエンス	<p>バイオサイエンス専攻博士前期課程では、生命科学分野において、優れた人間性を有し国内外の研究・産業の発展に貢献する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、次のような者に修士の学位を授与します。すなわち、生命科学の専門領域において</p> <p>(1)確かな知識と技術を有している。</p> <p>(2)研究者、教育者あるいは専門家としての能力を有している。</p> <p>(3)科学者倫理を理解し、問題設定・解決能力を備えている。</p> <p>(4)成果発表能力、発信力を備えている。</p>
分子生命化学	<p>分子生命化学専攻博士前期課程では、伝統的な化学の視点を保持しながらも、時代の変化に囚われない普遍的な価値を持ち、確かな自然科学系の基礎知識・技術を身につけた人材を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)農学分野における自然科学に化学的視点を取り入れ総合的に理解し、幅広い基礎的知識及び技術を修得している。</p> <p>(2)生命科学分野において化学を基盤とした広範な専門的知識及び研究能力を修得している。</p> <p>(3)研究倫理を理解し、問題設定・解決能力と論理的思考力を身につけ、研究成果を発信する能力を習得し、学修成果を社会に還元しうる能力を身につけている。</p>
分子微生物学	<p>分子微生物学専攻博士前期課程では、生命科学分野において、優れた人間性を有し国内外の微生物学が必要とされる様々な産業の発展に貢献する人材を輩出するために、所定の修了要件を満たし、次のような者に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)分子微生物学における確かな知識と技術を有している。</p> <p>(2)研究者など専門職者として活躍しうる能力を有している。</p> <p>(3)研究倫理を理解し、問題設定・解決能力を備えている。</p> <p>(4)成果発表能力、発信力を備えている。</p>
林学	<p>林学専攻博士前期課程では、森林・林業・林産業・農山村に関する高度な知識と研究能力、管理能力を持ち、循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力を備えた人を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)森林学・林学の専門領域における高度な知識を有している。</p> <p>(2)森林学・林学の専門領域における研究能力および管理能力を有している。</p> <p>(3)森林の保全とその多面的機能の高度利用を目指し、生物多様性の保全や循環型社会の形成に対する問題設定・解決能力を有している。</p>
農業工学	<p>農業工学専攻博士前期課程では、農業土木および農業機械分野の学問を基軸として、国内のみならず海外の現場での技術開発・問題解決と学術的な研究を両立できる高度な能力を持った人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1)農業工学に関する専門知識と研究能力を有している。</p> <p>(2)国内のみならず海外の現場での農業工学の専門領域における技術開発や問題解決に役立てる能力を備えている。</p>

【専攻 ディプロマポリシー】	
造園学	<p>造園学専攻博士前期課程では、「人間と自然との共存」を基本とした合理的で快適な土地空間を創造あるいは保全し、秩序づけることのできる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1) 造園学に関する専門領域において、確かな知識と技術、研究・デザイン能力を備えている。</p> <p>(2) 快適環境を具体化するための問題設定・解決能力を備えている。</p> <p>(3) 論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらにプレゼンテーションなどを通じた多様な発信・表現力を有している。</p> <p>(4) 科学者としての倫理観を理解し、その専門性に基づいて広く社会への責任を果たそうとする意欲と能力を有している。</p>
地域創成科学	<p>地域創成科学専攻博士前期課程では、生物文化多様性や土地・社会資本の保全に配慮した持続可能な地域の創成についての高度な知識と研究能力を持ち、農山村地域が抱える課題を解決し農山村地域を再生できる人材を輩出するために、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1) 生物多様性や生態系に配慮した土地利用方法、地域防災や農業基盤の保全・管理技術、及び環境アセスメントや環境教育、地域マネジメントに関連する調査・評価手法などの高度な知識と技術を有している。</p> <p>(2) 論理的・多面的に物事を考えることのできる創造的な研究能力を有し、農山村地域を再生するために必要な課題発見能力と課題解決能力を有している。</p> <p>(3) 地域づくりを担うリーダーシップを有している。</p>
国際農業開発学	<p>国際農業開発学専攻博士前期課程では、自然科学および社会科学にわたる広範な学問領域からのアプローチにより、農業開発や国際協力にかかわる問題の解決を図るための論理的な思考力と実践力を持つ人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1) 自然科学と社会科学にわたる領域において、世界各地の多様な自然と社会を理解するための素養となる知識を有している。</p> <p>(2) 農業開発や国際協力にかかわる諸問題を明らかにし、その解決のために研究方針と目的を設定することができる。</p> <p>(3) 農業開発や国際協力にかかわる研究を遂行する能力を有している。</p> <p>(4) 農業開発や国際協力にかかわる研究成果を、社会にむけてわかりやすく発表する能力を有している。</p>
農業経済学	<p>農業経済学専攻博士前期課程は、農業経済学および関連社会科学分野において、変化する社会・経済情勢に的確に対応のできる分析能力を有し、農業および関連産業と社会の発展に資する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1) 食料、農業、環境の農業経済学的側面にかかわる確かな知識を有している。</p> <p>(2) 農業経済学および関連分野において、研究者、教育者あるいは専門家として活動しうる能力を有している。</p> <p>(3) 図表を効果的に利用しながら文章で適格に表現して、情報発信する能力を有している。</p> <p>(4) 社会科学の視点から倫理を理解し、社会の諸問題を解決する意欲と能力を有している。</p>
国際アグリビジネス学	<p>国際アグリビジネス学専攻博士前期課程では、アグリビジネス学分野において、国内外の農業の持続的発展に寄与する専門家を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1) アグリビジネス分野における高度な専門知識と問題発見・解決能力を有している。</p> <p>(2) 現場での問題解決に向けた計画立案・遂行能力を有している。</p> <p>(3) アグリビジネスに必要な言語能力・倫理観を備えている。</p>
国際食農科学	<p>国際食農科学専攻博士前期課程は、自然科学及び社会科学にわたる学問領域からのアプローチにより、国内外の食農資源の新たな価値創造に寄与する国際的な人材を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1) 「農業生産」、「食品科学」、「食農政策」、「食農教育」などの自然科学・社会科学にわたる国際食農科学の確かな知識と技術を有している。</p> <p>(2) 国際食農科学において、研究者、高度専門家、教育者として活動し得る能力を有している。</p> <p>(3) 国際食農科学にかかわる研究を遂行する能力を有している。</p> <p>(4) 専門性を活かし、国内外における食や農にかかわる諸問題を解決する能力を有している。</p>

【専攻 ディプロマポリシー】	
北方圏農学	<p>北方圏農学専攻博士前期課程は、北方圏を含む中・高緯度地域における動植物資源の利用と新規生物資源の開発、生態系の保全、それらを活用する先進的なバイオテクノロジーを題材とする実践的な教育研究を通して、それぞれの分野において高い専門性を有し、自らの力で自然科学分野における諸課題を探求し解決するための方針を設定することのできる指導的役割を担う人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による修士論文の審査および最終試験に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1) 生物資源やバイオテクノロジーにかかわる確かな基礎知識と技術を有し、生命科学における研究方法を身につけている。</p> <p>(2) 研究者、教育者あるいは専門家として指導的役割を担う際に必要とされる課題探究力と、関連する科学的知見を収集し分析する能力を有している。</p> <p>(3) 研究成果を社会に広く発信するための論理構成力と文章表現力を有し、成果発表を行うためのプレゼンテーション力を身につけている。</p> <p>(4) 生物生産に関わる各自の専門性を活かして研究の成果を社会に還元するための意欲を有し、倫理観をもって自ら実践することができる。</p>
海洋水産学	<p>海洋水産学専攻博士前期課程は、オホーツク水圏の水産資源の持続的利用および資源増大に資するために水圏資源の環境、生産、加工、流通・ビジネスを一連のプロセスとして学び、水圏環境学、水産生物学や水産増養殖学を基盤とした専攻分野において、専門性の高い指導的役割を果たせる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による修士論文の審査および最終試験に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1) オホーツク水圏の豊かな自然環境と調和した持続可能な漁業生産を支えるとともに、安心安全な水産物を安定的に提供するための水産増養殖を理解し、本専攻の基盤となる学問に係る確かな知識と技術を身につけている。</p> <p>(2) 多様な水圏科学に関する専門性を活かした研究者、教育者あるいは専門家として活動しうる能力を身につけている。</p> <p>(3) 修士論文の作成を通して、水圏科学における課題を発見し解決するための研究テーマを探索して研究に取り組み、得られた成果をまとめて論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を身につけている。</p> <p>(4) 科学者としての倫理を理解し、水圏科学における社会の問題に目を向け、その解決に取り組む意欲と能力を身につけている。</p>
食香粧化学	<p>食香粧化学専攻博士前期課程は、食品、香料および化粧品加工・機能性・安全性に関する高度な研究と教育を通して、食と健康に関わる学問領域における専門知識と研究能力を有し、これらの分野において社会に貢献できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による修士論文の審査および最終試験に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1) 本学に所定の期間在籍し、講義や実験科目を通して、食品、香料および化粧品関連の実践的で高度な専門的知識を身につけている。</p> <p>(2) 修士論文の作成と関連する講義実験を通して、食品、香料および化粧品加工、機能性あるいは安全性に関する論理的な課題設定力と問題解決能力、表現力を身につけている。</p> <p>(3) 食品および化粧品業界において、機能性の研究、安全性試験あるいは加工などの業務に従事し、指導的な役割を果たす能力を身につけている。</p> <p>(4) 科学者としての倫理を理解し、食品、香料および化粧品に関連する社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を身につけている。</p>
自然資源経営学	<p>自然資源経営学専攻博士前期課程は、建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、わが国有数の生物資源・自然資源を持つ北海道オホーツク地域という学びのフィールドを通して、地域生物産業ならびに関連産業・地域企業および地域社会の持続的発展に寄与する研究者、高度な専門職業人、経営コンサルタント等の人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による修士論文の審査および最終試験に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与します。</p> <p>(1) 地域生物産業ならびに関連産業・地域企業および地域社会の持続的発展を支える高度な経営学・経済学の理論と先端的手法を修得している。</p> <p>(2) 社会科学的分野から、自然資源および地域資源を活用して多様な発展を遂げつつある地域生物産業を担う企業や関連産業・地域企業や地域社会の持続的発展と総合的な問題解決に寄与する知識と能力を身につけている。</p> <p>(3) 論文の執筆や口頭発表を行う能力と、多様な発信力やコミュニケーション力を身につけている。</p>

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

【大学院 ディプロマポリシー】	
<p>東京農業大学大学院は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、農学あるいは生物産業学を基盤とした専門分野における高度な専門的知識と技術を有し、理解力、洞察力、実践力、想像力を兼ね備えた人材の養成を目指します。このために、研究科が設置した授業科目を履修して所定の単位数を修得し、博士前期課程・修士課程においては修士の学位論文を、博士後期課程においては博士の学位論文を提出することを学位授与の要件とし、学位論文の作成を通じて、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。</p>	
<p>博士後期課程</p>	<p>(1) 豊かな学識と専攻分野における高度な専門的知識・技術を国際的レベルで有し、協調性を持ちながらも独立して、研究・教育あるいは専門家としての業務を遂行できる卓越した能力を有している。 (2) 専門分野に関する高度な国際的視野とコミュニケーション能力を持ち、世界水準の研究成果の発表と社会への還元を通じて、当該分野における研究を先導することのできる能力を有している。 (3) 物事を俯瞰的に捉える幅広い視野と、科学者としての高い倫理観と指導的役割を果たす自覚を持って、その専門分野において創造的に活動し、社会への責任を果たそうとしている。</p>
【研究科 ディプロマポリシー】	
<p>農学研究科</p>	<p>農学研究科博士後期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、農学を基盤とした生物資源、生命科学、環境科学、健康科学ならびに経営・経済の分野において、農学に対する深い理解の上に、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者および高度専門技術者を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、かつ学位論文を提出して学位論文審査基準に基づく審査に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。 (1) 専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を有している。 (2) 協調性を持ちながらも自立して、研究者、教育者あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有している。 (3) 多様なコミュニケーション能力を有し、地域あるいは国際的に活躍しうる能力を有している。 (4) 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとしている。</p>
<p>応用生物科学研究科</p>	<p>応用生物科学研究科博士後期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、農学を基盤とした生物資源、生命科学、環境科学、健康科学ならびに経営・経済の分野において、農学に対する深い理解の上に、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者および高度専門技術者を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、かつ学位論文を提出して学位論文審査基準に基づく審査に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。 (1) 専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を有している。 (2) 協調性を持ちながらも自立して、研究者、教育者あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有している。 (3) 多様なコミュニケーション能力を有し、地域あるいは国際的に活躍しうる能力を有している。 (4) 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとしている。</p>
<p>生命科学研究所</p>	<p>生命科学研究所博士後期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、農学を基盤としたバイオサイエンス、分子生命化学、分子微生物の分野において、これらの分野を包含する生命科学に対する深い理解の上に、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者など高度専門職者を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。 (1) 専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を有している。 (2) 協調性を持ちながらも自立して、研究者、教育者など高度専門職者としての業務を遂行する能力を有している。 (3) 多様なコミュニケーション能力を有し、地域あるいは国際的に活躍しうる能力を有している。 (4) 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとしている。</p>
<p>地域環境科学研究科</p>	<p>地域環境科学研究科博士後期課程は、周辺環境、地域環境、地球環境に関する課題を解決できる研究者を輩出するために、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に学位を授与する。 (1) 高度専門研究者として、地域環境に関する諸問題に関する高度な理解力と、問題解決のための高度専門知識を習得している。 (2) 調和ある地域環境を構築するための生物資源の保全・利用・管理に関する高度な知識と、高度専門技術を基盤とした問題解決のための研究手法を有している。 (3) 取り扱う諸問題の社会的意義を自覚し、責任感を持って研究にあたる事が出来る高度な倫理観と使命感を有している。</p>
<p>国際食料農業科学研究科</p>	<p>国際食料農業科学研究科博士後期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、食料農業科学とその知見の現場への適応を通じて国際的視野に立った社会貢献への深い理解に基づき、それぞれの専攻分野における世界水準の高度な知識と技術を有する先導的な研究者・教育者あるいは専門家を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。 (1) 専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を有している。 (2) 食料農業科学分野の先導的な研究者・教育者あるいは専門家として独立できる能力を有している。 (3) 食料・農業・環境領域での各国・地域の特性を活かした発展に向けた技術的・社会的方策の構築に関連する国際的かつ高度な研究成果を上げる能力を有している。 (4) 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとしている。</p>
<p>生物産業学研究科</p>	<p>生物産業学専攻博士後期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、北方圏の地域性を活用した生物産業学を基盤としたそれぞれの専攻分野において、高度な知識と技術を有する研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による博士論文の審査に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。 (1) 専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を身につけている。 (2) 協調性を持ちながらも独立して、研究者、教育者あるいは高度な専門家としての業務を遂行する能力を身につけている。 (3) 多様なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を身につけている。 (4) 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとする意欲と能力を身につけている。</p>

【専攻 ディプロマポリシー】	
農学	<p>農学専攻博士後期課程は、作物または園芸作物の生産、育種、バイオテクノロジー、ポストハーベストおよび農作物に関わる微生物や昆虫類に関する分野において、優れた人間性を有し、国内外の研究・産業の発展に貢献する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 本専攻における各専門分野における高い専門性を保証する国際的レベルでの高度な知識と技術を有している。 (2) 協調性を持ちながらも独立して、研究・教育あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有している。 (3) 多様かつ柔軟なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍する能力を有している。 (4) 科学者としての倫理を理解し、農業現場および広く社会において自らの能力によって責任を果たそうとしている。</p>
動物科学	<p>動物科学専攻博士後期課程では、畜産・動物科学分野において、より高度で専門的な知識と技術を合わせ持ち、関連分野で様々な課題に対応できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 畜産・動物科学分野を俯瞰した知識とより高度な専門知識を有している。 (2) 課題に対し自ら考え、これを高度なレベルで検証する意欲と能力を有している。 (3) 課題に対して国際レベルの解決策を導き出し、これを公表し、議論する意欲と能力を備えている。 (4) 科学者としての倫理を理解し、社会の発展のため取り組む意欲を備えている。</p>
バイオセラピー学	<p>バイオセラピー学専攻博士後期課程は、環境および福祉農学分野において、社会に潜む解決すべき課題を見出し、高度な専門知識と技術に基づいた研究によって立証し、その解決に向けた方策を社会に提言できる自立した研究者または教育者となる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) バイオセラピー学に関する高度な専門知識と技術を有している。 (2) 論理的で説得力のある論文執筆および研究発表による科学的議論を行うことができる。 (3) 英語による文章または口頭での表現能力を有している。 (4) 自立した研究者としての自覚と高い倫理観をもって研究に取り組むことができる。 (5) 高度な専門知識と技術をもって、研究成果を発信し社会に貢献する意欲を有している。</p>
生物資源開発学	<p>生物資源開発学専攻博士後期課程では、生物資源の利活用や持続可能な社会の実現に向けた課題を、遺伝子から生態系に至る生物多様性の様々なレベルを横断的に考究する生物資源開発学的アプローチにより解決するための科学的解析能力、論理的展開能力を備える人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を習得し博士論文を提出するとともに、研究指導をとおして、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与する。</p> <p>(1) 生物多様性と生物資源に関する高度な専門知識と研究能力を有している。 (2) 研究者としての自覚と高い倫理観をもって研究に取り組むことができる。 (3) 研究テーマについて最新の手法に基づきデータを収集し、分析することができる。 (4) 論理的な思考に基づく文章およびプレゼンテーションによる国内外で活躍できるための表現能力を有している。</p>
デザイン農学	<p>デザイン農学専攻博士後期課程では、既存・新規研究課題間の複雑かつ複層的な関係を適確に捉え、その課題解決のための情報・知識・技術の選択と複合、あるいはそれらを新たに開発し、さらにその結果に基づく社会実装を通じた生活や社会をデザインするための科学的解析能力、論理的展開能力、合意形成力を備え、持続可能な社会の構築に貢献できる自立した研究者または教育者となる人材を養成するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与する。</p> <p>(1) イノベーション農学、サステナビリティ農学からなるデザイン農学に関する高度な専門知識と技術に基づいた研究能力を有している。 (2) デザイン農学の視点による新たな価値観に基づく持続可能な社会を構築するうえで解決すべき諸問題に関して必要な情報を的確に得、自ら解析する能力を有している。 (3) デザイン農学分野に対する強い関心を持ち、生物やその生産物の持つ多面的な機能性を利用した技術や新機能性製品の開発とそれらを有機的に組み合わせた生活あるいは社会をデザインすることによる、新たな価値に基づく持続可能な社会の構築に貢献する能力を有している。 (4) デザイン農学分野にかかわる研究成果を、産・学・官・民といった国内外の様々なステークホルダーに発信し、それらと協働できる能力を有している。 (5) 論理的展開能力を備え、持続可能な社会の構築に貢献できる。</p>
環境共生学	<p>環境共生学専攻博士後期課程では、農学分野において環境共生学に対して深く理解する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 自然科学、社会科学および人文科学を基礎とした総合科学分野における高度な知識と独創的な研究能力を有している。 (2) 環境共生型社会の構築と維持に向けた課題への解決能力と、専門性に基づいて社会に対し貢献できる指導力を有している。</p>
農芸化学	<p>農芸化学専攻後期課程では、人類の生活に関わる課題に対し、農芸化学を基盤とした高度な専門性を持ち、国際化し多様化する社会情勢の変化に柔軟かつ的確に対応できる幅広い知識と判断力を有した研究者や高度専門職業人たる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 農芸化学に関する高度な専門知識と研究能力を有している。 (2) 高度な論文作成能力を有し、その研究成果をもとに国際社会に貢献できる。 (3) 研究者、高度専門職業人の指導、育成に貢献できる。 (4) 自ら研究課題を開拓し、独創的な研究を遂行できる。</p>

【専攻 ディプロマポリシー】	
醸造学	<p>醸造学専攻博士後期課程は、基礎科学知識に精通し、醸造に関わる微生物の分類、生態、構造、機能、遺伝、育種とその応用、醸造物・発酵食品の製造技術、解析、開発、醸造・食品産業における環境保全対策などの学問分野において自立した研究活動ならびに指導を行うことのできる研究者を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 醸造微生物学、微生物工学、酒類生産科学、発酵食品化学、調味食品科学、又は醸造環境科学などの専門分野において高度な専門知識と創造的な研究能力を有している。</p> <p>(2) 専門分野において問題設定および解決にむけた指導的能力を備えている。</p> <p>(3) 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとする意欲を有している。</p>
食品安全健康学	<p>食品安全健康学専攻博士後期課程は、「食品の安全性」と「食品の機能性」の分野において、独創的な問題解決力など、独立した研究者としての素養を身に付けた人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 「食品の安全性」および「食品の機能性」の双方に関する深い専門知識と最先端の研究技術を修得し、新たな研究手法を開発する能力を有している。</p> <p>(2) 前項に関する高度な専門的知識・研究能力に加え、倫理性を持って博士論文を作成することを通じて、新たな難度の高い課題を発見し、その課題に対し独創的な手法等により解決し、その結果を国際社会に対して的確に発信する能力を修得している。</p> <p>(3) 独立した研究者・教育者・行政官などとして、研究・教育・施策などの立案から実行に至る全過程を遂行し、将来、それぞれの分野で高い評価を得ることができる能力を有している。</p>
食品栄養学	<p>食品栄養学専攻博士後期課程は、本学・農学研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康保持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する確固たる深い専門的知識および研究能力を備え、食品栄養学周辺領域の人とも協同し、問題解決に向けた指導的能力を備えた人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 食品栄養学の分野において、高度で深い体系的知識と分析力を有している。</p> <p>(2) 科学者倫理を理解し、問題設定および課題解決に向けた指導的能力を有している。</p> <p>(3) 食品栄養学の分野における研究成果を国際的に発信できる能力を有している。</p>
バイオサイエンス	<p>バイオサイエンス専攻博士後期課程では、生命科学分野において、優れた人間性を有し、国内外の研究・産業の発展に貢献する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、かつ学位論文を提出して学位論文審査準に基づく審査に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。すなわち、生命科学の専門領域において</p> <p>(1) 国際的レベルでの高度な知識と技術を有している。</p> <p>(2) 協調性を持ちながらも独立して、研究者、教育者あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有している。</p> <p>(3) 高度な問題設定・解決能力を備えている。</p> <p>(4) 科学者倫理を理解し、研究組織においてリーダーシップを発揮できる能力を備えている。</p> <p>(5) 研究成果を国際的に発信する能力を備えている。</p>
分子生命化学	<p>分子生命化学専攻博士後期課程では、分子生命化学分野において、優れた人間性を有し、国内外の研究・産業の発展に貢献する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、かつ学位論文を提出して学位論文審査基準に基づく審査に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>① 分子生命化学分野における国際的レベルでの高度な知識と技術を有している。</p> <p>② 協調性を持ちながらも独立して、研究者、教育者あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有している。</p> <p>③ 高度な問題設定・解決能力を備えている。</p> <p>④ 科学者倫理を理解し、研究組織におけるリーダーシップを備えている。</p> <p>⑤ 研究成果を国際的に発信する能力を備えている。</p>
分子微生物学	<p>分子微生物学専攻博士後期課程では、健全で調和のとれた人間性を有し、生命科学分野において国内外の微生物学が必要とされる様々な産業の発展に貢献する人材を輩出するために、所定の修了要件を満たし、次のような者に博士の学位を授与します。</p> <p>① 微生物の機能を開発し応用に展開できる知識と技術を有している。</p> <p>② 幅広い視野で微生物研究を先導しうる素養と能力を有している。</p> <p>③ 研究倫理を理解し、問題設定・解決能力を備えている。</p> <p>④ 成果発表能力、発信力を備えている。</p>
林学	<p>林学専攻博士後期課程では、森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域における高度な知識と創造的な研究能力を修得し、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力および問題解決に向けてのリーダーシップを備えた人を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域における高度な知識を有している。</p> <p>(2) 森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域における創造的な研究能力を有している。</p> <p>(3) 森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域における問題設定・解決能力および問題解決に向けてのリーダーシップを備えている。</p>
農業工学	<p>農業工学専攻博士後期課程では、農業土木および農業機械分野の学問を基軸として、国内のみならず海外の現場での技術開発・問題解決と学術的な研究を両立できる高度な能力を持った人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 農業工学に関する高度な専門知識と優れた研究能力を有している。</p> <p>(2) 国内のみならず海外の現場での農業工学の専門領域における具体的な問題解決に資する高度な能力を備えている。</p>

【専攻 ディプロマポリシー】	
造園学	<p>造園学専攻博士後期課程では、「人間と自然との共存」を基本とした合理的で快適な土地空間を創造あるいは保全し、秩序づけることのできる高度な知識と技術を持つ優れた研究者や高度な専門技術者となり得る人材を輩出するために、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 造園学に関する高度な専門知識と技術、独創的な研究手法と優れた研究能力を修得している。</p> <p>(2) 造園学の専門領域における具体的な問題設定および解決に向けた高い指導的能力を備えている。</p> <p>(3) 多様かつ柔軟なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を有している。</p> <p>(4) 高度な専門性を有する科学者としての倫理観を有し、広く社会への責任を果たそうとする強い意欲と能力を備えている。</p>
地域創成科学	<p>地域創成科学専攻博士後期課程では、生物文化多様性や土地・社会資本の保全に配慮した持続可能な地域の創成についての高度な専門的応用知識と研究能力を持ち、農山村地域が抱えるさまざまな課題を解決し、農山村地域を再生に貢献できる能力を身につけた人材を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 生物多様性や生態系に配慮した土地利用・自然再生手法、地域防災や農業基盤の保全・管理技術及び環境アセスメントや環境教育、地域マネジメントに関する高度な専門的応用知識と技術を修得している。</p> <p>(2) 論理的・多面的に物事を考えることのできる創造的な研究能力を有し、農山村地域を再生するために必要な課題発見能力と課題解決能力を有している。</p> <p>(3) 地域づくりを担う高度専門研究の人材としてリーダーシップを身につけている。</p>
国際農業開発学	<p>国際農業開発学専攻博士後期課程では、高度な専門知識を踏まえて、国内外の農業開発ならびに国際協力分野でリーダーシップを持って活躍できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 自然科学と社会科学にわたる領域において、世界各地の多様な自然と社会を理解するための素養となる高度な知識を有している。</p> <p>(2) 農業開発や国際協力にかかわる諸問題を明らかにし、その解決のために、高度な専門知識をふまえて研究方針と目的を設定することができる。</p> <p>(3) 農業開発や国際協力にかかわる研究を、高度な専門知識をふまえて遂行する能力を有している。</p> <p>(4) 農業開発や国際協力にかかわる研究成果を発表し、その成果を社会の中で活かすためにリーダーシップを発揮することができる。</p>
農業経済学	<p>農業経済学専攻博士後期課程は、農業経済学および関連社会科学分野において、複雑な社会・経済情勢の中からの的確かつ体系的に情報を整理する能力と論理的思考能力を有し、国際社会に貢献できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 農業経済学の専門領域における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識を有している。</p> <p>(2) 体系的に情報を整理し、論理的思考に基づく研究能力を有している。</p> <p>(3) 食料問題・農業問題・環境問題等の解決に向け、リーダーシップ能力を有している。</p> <p>(4) 社会科学の視点から倫理を理解し、社会の諸問題を広い視野から解決できる能力を有している。</p>
国際アグリビジネス学	<p>国際アグリビジネス学専攻博士後期課程では、アグリビジネス学分野において、国内外の農業の持続的発展に寄与する研究者等の人材を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) アグリビジネス分野における高度な専門知識と優れた研究遂行能力を有している。</p> <p>(2) アグリビジネス分野における問題解決のための自立した学術研究能力を有している。</p> <p>(3) 国際舞台で活躍できる言語能力・倫理観を備えている。</p>
国際食農科学	<p>国際食農科学専攻博士後期課程では、国内外の食と農に関する課題解決に寄与する国際的な人材を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>① 国際食農科学の専門的な知識と技術を修得している。</p> <p>② 国際食農科学において、高度研究者、専門家、教育者として活動し得る高い能力を習得している。</p> <p>③ 国際食農科学にかかわる研究を遂行する高度な論理的展開能力を修得している。</p> <p>④ 専門性を活かし、国内外における食や農にかかわる諸問題を解決する高度な科学的解析能力を身につけている。</p>
生物産業学	<p>生物産業学専攻博士後期課程は、本学の建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、北方圏の地域性を活用した生物産業学を基盤としたそれぞれの専攻分野において、高度な知識と技術を有する研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、学位論文審査基準による博士論文の審査に合格するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与します。</p> <p>(1) 専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を身につけている。</p> <p>(2) 協調性を持ちながらも独立して、研究者、教育者あるいは高度な専門家としての業務を遂行する能力を身につけている。</p> <p>(3) 多様なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を身につけている。</p> <p>(4) 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとする意欲と能力を身につけている。</p>